

（５）経費等に関する評価チェックシート【②収支状況（経営健全化）】

（単位：千円）

	収支計画（A）		決算額（B）		(B)－(A)	備考
	金額	積算基礎	金額	積算基礎		
医業収益 ①	1,783,490		1,620,276		△ 163,214	
入院収益	1,168,000		1,102,662		△ 65,338	
	1日平均患者数（人）	95 一般45人、包括30人、回復20人	87.9 一般55.9人(90床)、包括32.0人(45床)		△ 7.1	回復リハ病棟（45床）は、令和2年度から稼働
	単価（円）	33,700 一般36,000円、包括33,000円、回復25,000円	33,663 一般34,520円、包括32,143円		△ 37.0	
外来収益	506,898		451,857		△ 55,041	
	1日平均患者数（人）	280	216.7		△ 63.3	
	単価（円）	7,450 診療日数：243日	8,400 診療日数：241日		950	
その他医業収益	108,592	室料差額収益、保健予防収益 等	69,653		△ 38,939	
医業費用 ②	2,136,841		2,281,333		144,492	
給与費	1,357,067		1,325,075		△ 31,992	
材料費	249,689		190,670		△ 59,019	
経費	530,085		765,588		235,503	
事業収支（①－②）	△ 353,351		△ 661,056		△ 307,705	
医業外収益	318,349		355,025		36,676	
政策的医療交付金	135,900	755千円×180床	101,250	750千円×135床	△ 34,650	令和元年度の稼働病床数は135床
経営基盤強化交付金	177,449		158,979		△ 18,470	
その他医業外収益	5,000		94,796		89,796	
医業外費用	184,199		0		△ 184,199	
医業外費用	184,199		0		△ 184,199	
経常収支	△ 219,201		△ 306,031		△ 86,830	
経常収支比率（％）	90.6	（医業収益＋医業外収益）／（医業費用＋医業外費用）	86.6	（医業収益＋医業外収益）／（医業費用＋医業外費用）	△ 4.0	
医業収支比率（％）	83.5	医業収益/医業費用	71.0	医業収益/医業費用	△ 12.5	
給与費対医業収益比率（％）	76.1	給与費/医業収益	81.8	給与費/医業収益	5.7	
病床利用率（％）	70.3	95床/135床 （稼働病床135床を基に算出）	65.1	87.9床/135床 （稼働病床135床を基に算出）	△ 5.2	

※収支計画は、指定管理者申請書（平成29年10月に指定管理者選定委員会に提出した資料）の平成31年度収支計画書より

評価の定義

- 期待どおり又は期待以上
- △ 事業の実施に問題はないが一部に改善の余地有り
- × 事業の実施に支障有り。或いは法令違反有り。

自己評価	自己評価分析
△	指定管理開始初年度であり、体制構築に時間を要したため計画より患者数の確保に至らず、収支は計画よりも下回りました。なお、計画は、回復期リハビリテーション病棟の稼働を想定した計画としておりましたが、地域医療構想調整会議により、令和元年度には開棟できなかったことも実績値との差と考えております。さらに、新型コロナウイルス感染症による影響として、500万円～600万円の減収と考えております。なお、経費には、指定管理者負担金を含めておりますが、計画時は、医業外費用に計上しております。よって、経費におきましては、指定管理負担金分を差し引いた場合、医業費用は計画より下回っております。経常収支において計画に至らなかった要因としては、事業収入ならびに事業外収入によるものと考えます。

市評価	評価所見
△	指定管理1年目であることから、赤字を想定した計画であったが、計画を上回る赤字を計上している。経営上の指標も全てにおいて計画値を下回っている。令和2年度から回復期リハビリテーション病棟45床が開棟し経営健全化に寄与することを期待する。